Test-4-X

www.test-4-x.com/driving

United States • DOL Knowledge Test

Washington

Study Guide

KNOWLEDGE POINTS	CHAPTERS	EDITION
89	10	2026-10-18

© 2026 Test4X. All rights reserved.
For personal study use. Not for resale or redistribution.

Questions or corrections: support@test-4-x.com

Disclaimer

> This study guide is compiled from official government handbooks and other publicly available sources, for educational purposes only. It is intended to help you study and prepare; it does not constitute legal or professional advice.
>
> Rules and regulations change. Always refer to the official handbook published by your licensing authority for the most current and authoritative information. The publisher assumes no liability for any decision made on the basis of this material.
>
> This publication is independent. It is not affiliated with, endorsed by, or sponsored by any licensing or examining authority. All trademarks are the property of their respective owners.

Edition 2026-10-18 • 89 knowledge points • 10 chapters

Spotted an error, or have a question about this guide?
support@test-4-x.com

Contents

01 Chapter 1: Licenses 1

02 Chapter 2: Vehicles 4

03 Chapter 3: Drivers 8

04 Chapter 4: Roads 12

05 Chapter 5: Rules of the road 1 15

06 Chapter 6: Rules of the road 2 19

07 Chapter 7: Rules of the road 3 23

08 Chapter 8: Risks 1 26

09 Chapter 9: Risks 2 29

10 Chapter 10: Risks 3 32

CHAPTER 1

Chapter 1: Licenses

1.1 中間運転免許証保持者のための制限事項

16歳および17歳のドライバーには、安全運転を促進するために特定の制限が付いた中間運転免許証が発行されます。最初の6か月間は、近親者でない限り、20歳未満の同乗者を乗せることはできません。最初の1年間は、資格のある成人が同乗していない限り、午前1時から午前5時までの運転が禁止されています。緊急時を除き、ハンズフリーであっても個人用電子機器の使用は禁止されています。

- ✓ 最初の6か月間、中間運転免許証の保持者は、近親者を除き、20歳未満の同乗者を乗せることはできません。
- ✓ 最初の1年間、中間運転免許証の保持者は、親、保護者、または25歳以上の免許を持つドライバーが同乗していない限り、午前1時から午前5時まで運転することはできません。
- ✓ 中間運転免許証の保持者は、緊急事態を報告する場合を除き、ハンズフリー技術を使用している場合でも、運転中に携帯電話や無線デバイスを使用することは許可されていません。

1.2 ワシントン州のアルコールおよびカンナビスに関するDUI法

ワシントン州では、アルコールまたは薬物の影響下での運転（DUI）に対して厳しい法律があります。21歳以上のドライバーの場合、法定制限は血中アルコール濃度（BAC）0.08%、またはテトラヒドロカンナビノール（THC）レベルが1ミリリットルあたり5.00ナノグラムです。21歳未満のドライバーの場合、制限ははるかに低く、BAC 0.02%、またはTHCレベルが0.00ナノグラムを超える場合です。黙示の同意法（Implied Consent Law）に基づき、すべてのドライバーはDUIの疑いがある場合、検査を受けることに同意したものとみなされます。

- ✓ 21歳以上のドライバーは、血中アルコール濃度（BAC）が0.08%以上、またはTHC濃度が5.00 ng/mL以上で運転することは違法です。
- ✓ 21歳未満のドライバーは、BACが0.02%以上、またはTHC濃度が0.00 ng/mLを超えて運転することは違法です。
- ✓ 黙示の同意法に基づき、警察官が影響下での運転を疑った場合、あなたは呼気または血液検査を受けることに同意します。

1.3 ワシントン州の開封容器に関する法律

ワシントン州では、開封済みのアルコールの容器や封の切られた大麻製品を車内に置くことは交通違反です。これは運転手および同乗者の両方に適用されます。これらの品物を合法的に輸送するには、車のトランクに入れるか、トランクがない車両の場合は、運転手や同乗者が通常座らない、または直接手が届かない場所に置かなければなりません。

- ✓ 走行中の車内で、いかなる者もアルコールを飲んだり大麻を使用したりすることは違法です。
- ✓ 開封済みのアルコールや大麻製品の容器は、車両のトランク、または運転手や同乗者がアクセスできない同様の場所で輸送しなければなりません。

1.4 ワシントン州の新規居住者向け免許要件

ワシントン州に転入する新規居住者は、特定の期間内に州の運転免許証を取得する必要があります。18歳以上の成人は、30日以内に免許を切り替える必要があります。州外の免許が失効している場合は、知識試験と技能試験の両方に合格する必要があります。16歳から17歳のティーンエイジャーは、ワシントン州の中間運転免許（Washington Intermediate Driver License）を申請し、州独自のドライバー教育要件を満たす必要があります。

- ✓ 18歳以上の新規居住者は、州に転入してから30日以内にワシントン州の運転免許証を取得しなければなりません。
- ✓ 新規居住者の州外の免許が失効している場合は、運転知識試験（Driving Knowledge Exam）と運転技能試験（Driving Skills Exam）の両方に合格する必要があります。

1.5 学習許可証と初回免許の取得

ワシントン州で16歳または17歳のティーンエイジャーが初めて運転免許を取得するには、特定のプロセスに従う必要があります。これには、少なくとも6か月間学習許可証（Instruction Permit）を保持し、運転教習コースを修了し、夜間の10時間を含む最低50時間の監督付き運転練習を記録することが含まれます。また、免許を申請する前の6か月間、無事故無違反の運転記録が必要です。

- ✓ ティーンエイジャーのドライバーは、最初の免許を申請する前に、少なくとも6か月間学習許可証を保持しなければなりません。
- ✓ 16歳から17歳の申請者は、夜間の10時間を含む、少なくとも50時間の監督付き運転を完了しなければなりません。
- ✓ 初回免許の申請者は、申請直前の6か月間に交通違反や有罪判決があってはなりません。

1.6 中間運転免許の規則違反に対する罰則

ワシントン州では、交通法規または免許の特定の制限に違反した中間運転免許（Intermediate Driver License）の保有者に対して、厳格な罰則制度を設けています。2回目の違反では6ヶ月間の免許停止（または18歳になるまで）、3回目の違反では運転者が18歳になるまで免許が停止されます。これらの罰則は、危険な運転行動を早期に是正することを目的としています。

- ✓ 中間運転免許の保有者による2回目の交通違反または過失のある衝突事故は、6ヶ月間または18歳になるまでのいずれか早い方まで免許停止となります。
- ✓ 3回目の交通違反または過失のある衝突事故は、運転者が18歳になるまで免許が停止されます。

1.7 ワシントン州運転免許試験の手順

ワシントン州の運転免許を取得するには、すべての新規ドライバーは2つの試験（学科試験と技能試験）に合格する必要があります。まず学科試験に合格する必要があり、そのスコアは2年間有効です。技能試験では、申請者は合法的に認可・登録され、安全な運転状態にあり、有効な賠償責任保険の証明書がある車両を提供しなければなりません。

- ✓ 技能試験を受ける資格を得るには、まず学科試験に合格しなければなりません。
- ✓ 学科試験の合格スコアは2年間有効です。
- ✓ 技能試験に使用する車両は、有効な賠償責任保険の証明書があり、安全な運転状態でなければなりません。

1.8 ワシントン州運転免許証の維持

運転者には、免許情報を最新かつ有効な状態に保つ責任があります。転居した場合は、10日以内にDepartment of Licensing (DOL) に新しい住所を届け出る必要があります。免許の有効期限が8年以上切れている場合、免許を再取得するには、知識試験と技能試験の両方に再度合格する必要があります。

- ✓ 転居後10日以内に、DOLに住所の更新を届け出る必要があります。
- ✓ 運転免許証の有効期限が8年以上切れている場合は、知識試験と技能試験の両方に再度合格する必要があります。

CHAPTER 2

Chapter 2: Vehicles

2.1 車両売却の報告

ワシントン州で個人が車両を売却、交換、または贈与する場合、法律により5日以内にライセンス局（Department of Licensing）に車両売却報告書（Vehicle Report of Sale）を提出することが義務付けられています。この報告は、新しい所有者が犯した違反行為に対する売り手の責任を保護するのに役立ちます。その後、購入者は15日以内に署名済みの権原証書（title）をライセンス事務所に持参し、正式に所有権を移転して罰金を回避する必要があります。

- ✓ 売り手は、車両を処分してから5日以内に車両売却報告書を提出しなければなりません。
- ✓ 購入者は、罰金を回避するために、15日以内に署名済みの権原証書をライセンス事務所に持参して所有権を移転しなければなりません。
- ✓ 売却報告書は所有権を移転するものではありません。権原証書に署名し、購入者に渡す必要があります。

2.2 強制自動車賠償責任保険

ワシントン州法により、すべてのドライバーは車内に賠償責任保険の証明書を携帯することが義務付けられています。この保険は、法的に有効であるために、特定の最低補償額を満たしている必要があります。その目的は、ドライバーが衝突事故で引き起こす可能性のある人身傷害や物損の費用を補償できるようにすることです。

- ✓ 車内に賠償責任保険の証明書を携帯しなければなりません。
- ✓ 1名の傷害・死亡に対する最低補償額は25,000ドルです。
- ✓ 2名以上の傷害・死亡に対する最低補償額は50,000ドルです。
- ✓ 物損に対する最低補償額は10,000ドルです。

2.3 ヘッドライトとハイビームの使用規則

道路を見たり、他の運転者から見られたりするために、ヘッドライトを適切に使用することは安全にとって非常に重要です。ワシントン州法では、ヘッドライトを使用しなければならない時期が定められています。ハイビームは照明のない開けた道路で使用できますが、他の運転者の目をくらませないように、他の車両がいる場合は減光しなければなりません。

- ✓ ヘッドライトは、日没の30分後から日の出の30分前まで、および視界が悪いとき（例：雨、霧、雪）は常に点灯しなければなりません。
- ✓ 対向車から500フィート以内にいる場合は、ハイビームを減光しなければなりません。
- ✓ 追従している車両から300フィート以内にいる場合は、ハイビームを減光しなければなりません。

2.4 子供の同乗者用拘束装置に関する法律

ワシントン州では、走行中の車内でお子様の安全を確保するため、チャイルドシートに関する特定の厳格な法律が定められています。必要とされる拘束装置の種類は、お子様の年齢と体格に基づきます。すべての子供の同乗者がこれらの規制に従って適切に固定されていることを確認するのは、運転者の責任です。

- ✓ 2歳までの子供は、後ろ向きのチャイルドシートに乗せなければなりません。
- ✓ 2歳から4歳までの子供は、ハーネス付きのチャイルドシート（後ろ向きまたは前向き）に乗せなければなりません。
- ✓ 4歳以上の子供は、身長が4フィート9インチ（約145cm）に達するまでブースターシートを使用しなければなりません。
- ✓ 13歳未満の子供は、エアバッグの危険性があるため、決して助手席に乗せてはなりません。

2.5 方向指示器と手信号の使用

自分の意図を合図することは、安全で予測可能な運転の重要な部分です。ワシントン州では、右左折や車線変更など、方向を変える前に合図をしなければなりません。車両の電気式方向指示器が作動しない場合は、適切な手信号を使用する必要があります。

- ✓ 右左折または車線変更を行う少なくとも100フィート手前で合図をしなければなりません。
- ✓ 右折の場合の手信号は、左腕を窓から出し、肘を上に曲げ、指を空に向けます。
- ✓ 左折の場合の手信号は、左腕を窓からまっすぐ伸ばします。
- ✓ 停止または減速する場合の手信号は、左腕を窓から出し、肘を下に曲げ、指を地面に向けます。

2.6 大型車との道路の共有

トラックやバスなどの大型車には、その周囲に「ノーゾーン」と呼ばれる大きな死角があります。小型車の運転者はこれらのエリアを認識し、その中にとどまらないようにすることが極めて重要です。大型車の近くを運転する際の簡単な経験則は、重要な安全対策です。

- ✓ 大型車には、四方すべてに「ノーゾーン」として知られる大きな死角があります。
- ✓ 大型車のサイドミラーに運転者の姿が見えない場合、相手からもあなたは見えていません。
- ✓ 大型車の直後を走行したり、長時間並走したりすることは避けてください。

2.7 自動車所有権証明書（タイトル）と登録

ワシントン州では、免許局（Department of Licensing - DOL）が自動車の法的所有権を証明する所有権証明書（Certificate of Ownership）、通称タイトルを発行します。これは非常に重要な書類であり、安全な場所に保管する必要がありますが、決して車内に保管してはなりません。すべての車両はDOLに登録する必要もあります。新規居住者は30日以内に車両を登録しなければなりません。車両登録証は署名の上、常に車内に保管しておく必要があります。

- ✓ 所有権証明書（タイトル）は安全な場所に保管し、車内には置かないでください。
- ✓ 新規居住者は30日以内にワシントン州で車両を登録する必要があります。
- ✓ 車両登録証は署名の上、車内に保管しなければなりません。

2.8 車両安全技術（VST/ADAS）の限界

現代の車両には、死角検知や車線維持支援などの先進運転支援システム（ADAS）が装備されていることがよくあります。これらのシステムは安全性を高めますが、注意深く集中しているドライバーの代わりにはなりません。あなたは引き続き車両の操作に全責任を負い、技術の限界を認識しなければなりません。

- ✓ 車両安全技術（VST）およびADASは、ドライバーの健全な運転習慣を代替するものではなく、支援することを目的としています。
- ✓ 支援システムを使用している場合でも、ドライバーは常に車両の操作に全責任を負います。
- ✓ これらのシステムは、歩行者、自転車、または隣接車線の車両を検知できない場合があるため、ドライバーによる目視確認が必要です。

2.9 シートベルトと乗員保護の要件

シートベルトの着用は、衝突事故の際に身を守るための最も効果的な単一の方法です。ワシントン州の法律では、走行中の車に乗っているすべての人が適切に拘束されることを義務付けています。シートベルトが正しく機能するためには、適切な装着が不可欠です。

- ✓ 走行中の車に乗っているすべての人は、シートベルトを着用するか、承認されたチャイルドシートを使用しなければなりません。
- ✓ ラップベルトは、腹部ではなく、腰骨/太ももの付け根あたりで、低くぴったりと着用する必要があります。
- ✓ ショルダーベルトは、首や顔ではなく、胸と肩の中央を通るように着用する必要があります。

2.10 安全のための基本的な車両メンテナンス

車両を安全な運転状態に保つことは、ドライバーの責任です。タイヤ、ライト、窓などの主要な部品は、運転中の視界とコントロールを確保するために、適切に維持されなければなりません。

- ✓ タイヤの溝の深さは、2/32インチ以上でなければなりません。
- ✓ ナンバープレートは車両の前面と後面に取り付け、清潔で読みやすい状態に保たなければなりません。
- ✓ フロントガラスと窓は清潔に保ち、視界を妨げるステッカーやミラーからぶら下がっている物などの障害物がないようにしなければなりません。

CHAPTER 3

Chapter 3: Drivers

3.1 アルコールが運転能力に与える悪影響

アルコールは、飲酒運転による衝突事故の一般的な要因です。抑制剤として作用し、ドライバーの判断力、視力、反応時間、協調性に悪影響を及ぼします。少量であっても過信や危険な行動につながる可能性があり、アルコールを摂取した後の運転は安全ではありません。

- ✓ アルコールは、かすみ目、眠気、反応時間の低下を引き起こす可能性があります。
- ✓ アルコールは、速度や距離を判断したり、車線内に留まるなどの複数の作業をこなすドライバーの能力を損ないます。
- ✓ 飲酒後はドライバーの自信が過剰になり、より大きなリスクを冒す行動につながることがあります。

3.2 大麻（マリファナ）による運転能力の低下と運転の違法性

ワシントン州では21歳以上の成人による娯楽目的での大麻の使用は合法ですが、年齢に関わらずその影響下で運転することは違法です。大麻は安全な運転に必要なスキルを著しく損ない、車両を運転する前に摂取して安全な量というものはありません。

- ✓ 年齢に関わらず、いかなる量の大麻を摂取した後でも運転は違法です。
- ✓ 大麻は注意力を低下させ、反応時間を遅らせ、運動協調能力を減少させることで運転能力を損なう可能性があります。
- ✓ 大麻の使用は、ドライバーの距離判断能力や車両を適切に操作する能力に悪影響を及ぼす可能性があります。

3.3 ワシントン州の電子機器使用に関する厳格な法律 (E-DUI)

ワシントン州には、脇見運転に対処するため、「電子機器の影響下での運転」(E-DUI) という厳格な法律があります。この法律は、運転者が運転中に携帯電話やタブレットなどの個人用電子機器を手に持つことを禁止しています。これには、交通渋滞や赤信号で停止している場合も含まれます。

- ✓ 運転中に個人用電子機器を手に持つことは、交通渋滞や赤信号で一時的に停止している場合でも違法です。
- ✓ 脇見運転法違反の罰金は、初回の違反後に2倍になる可能性があります。
- ✓ 学習許可証 (Instruction Permit) または中間免許 (Intermediate License) を持つドライバーは、ハンズフリーモードであっても、いかなる電子機器の使用も禁止されています。

3.4 視力要件と安全な夜間運転の心得

ワシントン州での運転には良好な視力が法的に義務付けられており、免許を取得するには視力検査に合格する必要があります。矯正レンズが必要な場合は、運転中は常に着用しなければなりません。夜間運転には、ヘッドライトの眩しさなど、特有の難しさがあります。視界が悪くなった場合に安全を確保するため、ドライバーは特定の技術を身につけるべきです。

- ✓ 矯正レンズの着用が義務付けられている場合は、運転中は常に着用しなければなりません。
- ✓ 夜間、対向車のヘッドライトの眩しさを避けるには、道路の右端に視線を向け、それをハンド操作の目安としてください。
- ✓ 夜間は、ヘッドライトが照らす範囲内で停止できるよう、速度を落とし、車間距離を長めにとるべきです。

3.5 運転中のヘッドホンおよびオーディオ機器の使用制限

聴覚は、サイレンやクラクションのような警告を検知するための重要な感覚です。ワシントン州法は、ドライバーが周囲の音を聞き取れるようにするため、個人用オーディオ機器の使用を制限しています。仮免許（instruction permit）または若年運転者免許（intermediate license）を持つ新規ドライバーには、より具体的で厳しい規則があります。

- ✓ 両耳に音を流すイヤホンやヘッドホンを装着して車両を運転することは違法です。
- ✓ 仮免許（Instruction Permit）または若年運転者免許（Intermediate Driver License）を持つドライバーは、ハンズフリーであっても、運転中に携帯電話やその他の携帯電子機器を使用することはできません。
- ✓ ハンズフリー機器は、州の規制に準拠している場合に限り、片耳でのみ使用できます。

3.6 合法的な医薬品による運転能力の低下

能力が低下した状態での運転（Impaired driving）は、アルコールや違法薬物だけに限定されません。多くの一般的な処方薬や市販薬は、眠気、めまい、その他の副作用を引き起こし、運転を危険にする可能性があります。合法か処方薬かに関わらず、薬物の影響で能力が低下している場合、運転者はDUI（影響下運転）で逮捕される可能性があります。

- ✓ 薬が合法または処方されたものであるからといって、運転中に使用しても安全であるとは限りません。
- ✓ 「重機の操作」を控えるよう助言する警告ラベルは、車両の運転にも適用されます。
- ✓ 新しい薬を服用し始めた後は、それがご自身の判断力、協調性、反応時間にどのように影響するかを把握するまで運転すべきではありません。

3.7 薬物の併用（ポリドラッグ使用）による危険性の増大

ポリドラッグ使用とは、複数の種類の薬物を摂取することであり、アルコールと大麻、処方薬、またはその他の物質を混ぜることを含みます。この組み合わせは心身機能への悪影響を増大させ、運転を極めて危険にします。これは、死亡衝突事故で見られる最も一般的な心身機能の低下の形態です。

- ✓ アルコール、大麻、またはその他の薬物を併用すると、単独で使用するよりも大きな影響が生じる可能性があります。
- ✓ ポリドラッグ使用は、死亡衝突事故に関わる最も一般的な心身機能の低下の形態です。
- ✓ ポリドラッグ使用には、アルコール、大麻、違法薬物、処方薬、市販薬のあらゆる組み合わせが含まれる可能性があります。

3.8 居眠り運転の認識と予防

疲労した状態での運転は、飲酒運転や薬物使用後の運転と同じくらい危険です。視力、判断力、反応時間が低下します。ドライバーは眠気の兆候を認識し、運転中に眠ってしまわないよう対策を講じるべきです。

- ✓ 疲労の兆候には、集中力の低下、頻繁なまばたき、車線からのはみ出し、交通標識の見落としなどがあります。
- ✓ 長距離を移動する際は、約100マイルまたは2時間ごとに休憩を取る計画を立てるべきです。
- ✓ 運転中に眠気を感じた場合、最も安全な対処法は、安全な場所に車を停めて短い仮眠を取ることです。

3.9 安全運転のための適切な視覚走査（スキャニング）技術

安全なドライバーであるためには、常に周囲の情報を収集する必要があります。これには、潜在的な危険を早期に発見し、反応する時間を確保するために、車両の前方、側方、後方の道路を積極的に探索し、走査（スキャン）することが含まれます。

- ✓ 潜在的な危険を予測し、急ブレーキや急なハンドル操作を避けるために、車両のはるか前方を走査（スキャン）してください。
- ✓ 車線変更、減速、または後退する前には、ミラーと目視（ショルダーチェック）で後方の交通状況を確認しなければなりません。
- ✓ 交差点に近づく際は、進行する前に左右を見て、接近してくる車両、歩行者、自転車がいないか確認する必要があります。

3.10 攻撃的な運転とロードレイジ（あおり運転）の区別

攻撃的な運転とロードレイジ（あおり運転）の違いを理解することが重要です。攻撃的な運転とは、スピード違反や車間距離不保持などの危険な行為を含む交通違反です。ロードレイジは、運転者が自分の車や武器を暴力的に使用する刑事犯罪です。

- ✓ 攻撃的な運転は交通違反ですが、ロードレイジは刑事犯罪です。
- ✓ スピード違反、車間距離を極端に詰めること、危険な車線変更などの行動は、攻撃的な運転と見なされます。
- ✓ 攻撃的なドライバーに狙われた場合は、相手にせず、道を譲り、目を合わせるのを避け、脅威を感じたら人通りの多い場所まで運転してください。

CHAPTER 4

Chapter 4: Roads

4.1 歩行者への優先権の譲歩

ワシントン州では、標識の有無にかかわらず、すべての横断歩道および交差点で歩行者が絶対的な優先権を持ちます。ドライバーは警戒を怠らず、停止する準備をしなければなりません。介助動物や杖を使用しているような障害のある歩行者には特に注意が必要です。彼らが道路を完全に横断するのを待ってから進行しなければなりません。

- ✓ 標識の有無にかかわらず、すべての横断歩道および交差点で歩行者に道を譲らなければなりません。
- ✓ 歩行者があなたの車線を横断した後、彼らがさらにもう1車線を通過するのを待ってから進行することができます。
- ✓ 介助動物、杖、または車椅子を使用している歩行者の場合、彼らが道路を完全に横断し終えるまで待ってから発進しなければなりません。
- ✓ 介助動物にクラクションを鳴らしたり、妨害したりすることは違法です。それは動物と歩行者を混乱させたり、怖がらせたりする可能性があるためです。

4.2 スクールバスのための停止

ワシントン州には、子どもたちを守るため、スクールバスのための停止に関する厳しい法律があります。スクールバスが赤色の点滅灯をつけ、停止標識を広げているときは、停止しなければなりません。停止のルールは、走行している道路の種類によって異なります。停止しているスクールバスを違法に追い越した場合、罰金は2倍になります。

- ✓ 車線数に関わらず、同じ方向に走行している場合は、赤色の点滅灯をつけたスクールバスのために停止しなければなりません。
- ✓ 2車線の道路では、両方向の交通が赤色の点滅灯をつけたスクールバスのために停止しなければなりません。
- ✓ 3車線以上ある道路、または中央分離帯や障壁で隔てられている道路では、対向車線を走行する交通は停止する必要はありません。
- ✓ 中央の左折レーンを使って、停止しているスクールバスを追い越すことはできません。

4.3 大型車との道路の共有

トラックやバスなどの大型車には、広大な死角（「ノーゾーン」）、長い停止距離、広い回転半径といった重大な制約があります。これらの車両の周りを安全に運転するためには、十分なスペースを確保し、これらの制約を認識する必要があります。

- ✓ 大型車の運転席のミラーが見えない場合、運転手からもあなたは見えません。
- ✓ 大型トラックの前に合流する際は、自分のバックミラーにトラックの両方のヘッドライトが見えるまで待ってから前に割り込んでください。
- ✓ 旋回中の大型車は、旋回を完了するために複数の車線を使用することがあるため、決して追い越さないでください。
- ✓ 大型車の死角に入らないように、長時間並走することは避けてください。

4.4 オートバイの周囲を安全に運転する

オートバイの運転手は他のドライバーと同じ権利を持っていますが、はるかに傷つきやすく、見えにくい存在です。ドライバーは積極的にオートバイを探し、十分な車間距離を保ち、安全性と視認性のために車線全幅を使用する権利を尊重しなければなりません。

- ✓ オートバイの運転手は車線全幅を使用する権利があります。決して横に並んで車線を共有しようとしないでください。
- ✓ オートバイはより急に停止でき、路上の危険物の影響を受けやすいため、後方を走行する際はより長い車間距離を保つべきです。
- ✓ 方向転換や車線変更の前には、死角にオートバイがいないことを確認するために、2度確認し、肩越しの目視確認を行ってください。

4.5 自転車との道路共有のルール

ワシントン州では、自転車利用者は自動車の運転者と同じ権利と責任を有します。自転車利用者は交通弱者であるため、運転者は追い越す際に十分なスペースを確保し、交差点や横断歩道では道を譲らなければなりません。

- ✓ 自転車を追い越す際は、ご自身の車両の最も幅の広い部分と自転車との間に、少なくとも3フィートの間隔を空けなければなりません。
- ✓ 横断歩道にいる自転車利用者は歩行者とみなされるため、優先権を譲らなければなりません。
- ✓ 自転車利用者と車線を共有することはできません。自転車利用者は車線全体を使用する法的権利があります。
- ✓ 右左折または駐車する場合にのみ、自転車レーンに入ることができます。

4.6 踏切の安全規則

列車は常に優先通行権を持ち、急には止まれません。踏切では、点滅する赤色灯、警報音、遮断機を含むすべての警報信号に従わなければなりません。決して列車より先に通過しようとしたり、下がっている遮断機を迂回して運転したりしないでください。

- ✓ 踏切の警報灯が点滅しているときは、最も近い線路から15フィートから50フィートの範囲で停止しなければなりません。
- ✓ 列車は常に他のすべての道路利用者に対して優先通行権を持ちます。
- ✓ 線路内に車両を停止させないでください。
- ✓ もし車両が線路上でエンストした場合は、直ちに全員を車外に避難させ、線路から離れ、青と白の緊急通知システム（Emergency Notification System）の標識にある番号または911に電話してください。

4.7 緊急車両への進路の譲り方

緊急車両（警察、消防、救急車）がライトを点灯させ、サイレンを鳴らして接近してきた場合は、直ちに道を譲らなければなりません。これにより、緊急車両が遅滞なく緊急事態に対応できます。

- ✓ ライトを点灯させるかサイレンを鳴らして接近してくる緊急車両に対しては、直ちに道路の右側に寄り、完全に停止しなければなりません。
- ✓ 緊急車両が完全に通り過ぎるまで停止したままでいなければなりません。
- ✓ 緊急車両が通り過ぎた後、安全を確認してから合図を出し、交通の流れに合流してください。

4.8 公共交通機関のバスへの譲り合い

ドライバーは礼儀正しく、公共交通機関の車両に道を譲らなければなりません。路線バスが合図を出し、停留所から車道に戻ろうとしている場合、同じ方向に走行しているドライバーは進路を譲る義務があります。

- ✓ 合図を出して車道に戻ろうとしている公共交通機関の車両には、進路を譲らなければなりません。
- ✓ この規則は、あなたと同じ方向に走行している公共交通機関の車両に適用されます。

4.9 低速走行車両の識別と追い越し

農業用車両や農場用車両は、時速25マイル（mph）以下の速度で走行することがよくあります。これらの車両は、後部にあるオレンジ色と赤色の反射性のある三角形の標識で識別されます。このような車両に遭遇した場合は、速度を落とし、安全な場合にのみ十分なスペースを確保して追い越してください。

- ✓ 低速走行車両には、後部に三角形の標識が付いています。
- ✓ 農業用車両を追い越す際には、その車両と自分の車との間に少なくとも3フィートの間隔を空けなければなりません。

CHAPTER 5

Chapter 5: Rules of the road 1

5.1 作動していない交通信号への対応

停電や故障により交通信号が作動していない場合、運転手はその交差点を四方向一時停止（four-way stop）として扱わなければなりません。これは、信号が機能していないときに秩序を維持し、衝突を防ぐための重要な安全規則です。

- ✓ 交通信号が作動していない場合は、その交差点を四方向一時停止として扱わなければなりません。
- ✓ 故障した信号では、完全に停止し、右側の交通に道を譲り、安全な場合にのみ注意して進んでください。

5.2 赤信号の理解

赤色の灯火および矢印は、完全な停止を要求する禁止信号です。赤色の点灯信号は、停止線または横断歩道の手前で停止することを意味します。赤色の点滅信号は、一時停止標識（STOPサイン）として機能します。赤色の矢印は、主信号が青であっても、矢印の方向への進行を明確に禁止します。

- ✓ 赤色の点滅信号は一時停止標識と同じ意味を持ちます。完全に停止し、自分の順番になったら進んでください。
- ✓ 赤色の矢印は、それが青色に変わるまで矢印の方向へ進むことができないことを意味します。
- ✓ 赤色の点灯信号で完全に停止した後、標識で禁止されておらず、進路がクリアであれば右折することができます。
- ✓ 一方通行の道路から別の一方通行の道路へ入る場合に限り、完全に停止した後、禁止されていなければ赤色の点灯信号で左折することができます。

5.3 黄色の交通信号への対応

黄色の信号灯と矢印は、信号が赤に変わることを示しています。黄色の点灯は、速度を落として停止の準備をすべきであることを意味します。黄色の点滅は、速度を落とし、譲れ（yield）の標識がある場合と同様に、他の車両に道を譲りながら注意して進むべきであることを意味します。

- ✓ 黄色の点灯は、信号が赤に変わることの警告です。停止の準備をしなければなりません。
- ✓ 信号が黄色に変わったときにすでに交差点内にいる場合は、安全な速度で通過し続けるべきです。
- ✓ 黄色の点滅は、譲れ（yield）の標識と同じ意味を持ちます。速度を落とし、注意して進んでください。
- ✓ 黄色の矢印は、保護された右左折の時間が終了することを示しており、停止の準備をすべきです。

5.4 青信号での進行

青色の灯火または矢印は進行できることを示しますが、進路が空いている場合に限ります。青色の灯火では、すでに交差点内にいる車両や歩行者に道を譲らなければなりません。青色の灯火で左折する場合は、対向車すべてに道を譲らなければなりません。緑色の矢印は「保護された」右左折を意味し、あなたに優先権があることを示します。

- ✓ 青色の灯火は進行できることを意味しますが、まず交差点内のすべての交通や歩行者に道を譲らなければなりません。
- ✓ 青色の灯火で左折する場合は、対向車すべてに優先権を譲らなければなりません。
- ✓ 緑色の矢印は、矢印の方向に進行する優先権を与えます。

5.5 色による交通標識の識別

ワシントン州では、特定の種類の情報を伝えるために標準化された標識の色を使用しています。これらの色を認識することで、ドライバーは標識の性質を素早く理解することができます。赤は禁止、オレンジは工事の警告、黄色は一般的な警告、白は規制、緑は案内を示します。

- ✓ 赤色の標識は、停止（Stop）標識や「進入禁止」（'Do Not Enter'）標識など、禁止や制限を示します。
- ✓ オレンジ色の標識は、建設および保守作業の警告に使用されます。
- ✓ 白色の標識は規制を示すもので、制限速度（Speed Limit）標識のように法律を定めています。
- ✓ 黄色の標識は、「雨天時スリップ注意」（'Slippery When Wet'）標識のように、予期しない道路状況に関する一般的な警告を提供します。

5.6 四方向一時停止交差点における優先権のルール

全方向に一時停止標識がある交差点では、誰が先に進むかを決定する特定のルールがあります。最初に到着して完全に停止した車両が優先権を持ちます。2台の車両が同時に到着した場合は、左側の運転手が右側の運転手に道を譲らなければなりません。

- ✓ 四方向一時停止交差点では、最初に到着して停止した車両が最初に出発します。
- ✓ 2台の車両が四方向一時停止交差点に同時に到着した場合、左側の運転手は右側の運転手に道を譲らなければなりません。
- ✓ 四方向一時停止交差点で左折する車両は、直進または右折する車両に道を譲らなければなりません。

5.7 一般的な交差点の優先権

すべての交差点を安全に通行するためには、優先権を理解することが不可欠です。二方向一時停止では、従道路の車両は主道路の車両に道を譲らなければなりません。重要な点として、ワシントン州ではすべての交差点が、標示の有無にかかわらず、法的に横断歩道と見なされており、ドライバーは歩行者に道を譲る準備をしておく必要があります。

- ✓ T字路または二方向一時停止で、主道路に合流する車両は、すでに主道路を走行している車両に道を譲らなければなりません。
- ✓ すべての交差点は、ペイントされた線で標示されているかどうかにかかわらず、法的に横断歩道です。
- ✓ 交差点に進入する前に、交差する交通を確認でき、交差点を塞がずに通過できる十分なスペースがなければなりません。

5.8 一般的な車線規則と運転行動

ワシントン州では、ドライバーは道路上の位置取りと移動に関する基本ルールを遵守しなければなりません。原則として道路の右側を走行します。同一方向に複数の車線がある道路では、右側の車線は通常の走行に使用し、左側の車線は遅い車を追い越すために空けておきます。路肩（ショルダー）を使って追い越しをすることは、違法かつ危険です。

- ✓ 合法的かつ安全に追い越しをする場合を除き、常に道路の右側を走行してください。
- ✓ 複数車線のある道路では、追い越し時以外は右側を走行し、追い越しの際は制限速度を超えないでください。
- ✓ 他の車両を追い越すために路肩を走行することは違法です。
- ✓ 路肩や高速道路でバック（後退）することは違法です。

5.9 工事区域の規則と罰則

オレンジ色の標識で示される工事区域は、ドライバーの注意がより一層必要とされるエリアです。運転者は、すべての道路工事関係者およびその車両に道を譲らなければなりません。作業員の安全性を高めるため、作業員がいる工事区域で交通違反を犯した場合、罰金は2倍になります。

- ✓ 工事区域内では、いかなる道路工事関係者や車両にも優先権を譲らなければなりません。
- ✓ 作業員がいる工事区域での交通違反に対する罰金は2倍になります。

5.10 正しい右左折の手順

州法では、右左折時に特定の行動が義務付けられています。ドライバーは、交差点の少なくとも100フィート手前で方向指示器を出し、曲がる意思を示さなければなりません。右左折を完了する際は、走行してきた車線に最も近い車線に入らなければなりません。例えば、右折は新しい道路の最も右側の車線に行う必要があります。

- ✓ 右左折する少なくとも100フィート手前で方向指示器を使用しなければなりません。
- ✓ 右左折する際は、走行してきた車線に最も近い車線に入らなければなりません。
- ✓ 右左折する前に、進路上の自転車や歩行者を確認し、道を譲らなければなりません。

5.11 中央共有左折レーンの使用

黄色い実線と破線でマークされた中央共有レーンは、両方向からの車両が左折するためだけに設計されています。このレーンを他の車両の追い越しや通常の走行のために使用することは違法です。

- ✓ 中央共有レーンは左折専用です。
- ✓ 中央共有左折レーンを他の車両の追い越しや通常の走行レーンとして使用することはできません。

5.12 権限のある係員の指示に従うこと

特定の状況では、権限のある個人の指示が、設置されている標識や信号機よりも優先されます。ドライバーは、法執行官、道路工事作業員（旗振り員）、および学童擁護員（スクールガード）による命令や指示に常に従わなければなりません。

- ✓ 法執行官、工事作業員、学童擁護員の指示に従わなければなりません。
- ✓ 権限のある人物による指示は、その場所にあるいかなる交通信号機や標識よりも優先されます。

CHAPTER 6

Chapter 6: Rules of the road 2

6.1 ラウンドアバウト（環状交差点）の通行方法

ラウンドアバウトとは、中央島の周りを反時計回りに通行する円形の交差点です。運転手は接近時に減速し、すでにラウンドアバウト内を走行しているすべての車両に道を譲り、進入および退出時には横断歩道の歩行者や自転車に道を譲らなければなりません。車線選択は進入前に行い、退出するまでその車線を維持する必要があります。

- ✓ ラウンドアバウトに接近する際は、すでに環状路内を走行しているすべての車両および自転車に道を譲らなければなりません。
- ✓ ラウンドアバウト内では、常に反時計回りに走行してください。
- ✓ ラウンドアバウトに接近および通過する際は、推奨速度（通常時速15〜25マイル）まで減速してください。
- ✓ ラウンドアバウトに進入および退出する際は、横断歩道にいる歩行者のために停止しなければなりません。

6.2 信号機のない交差点での優先権

信号機のない交差点とは、標識や交通信号機がない交差点のことです。標準的な優先権のルールが適用されます。すでに交差点内にいる車両に道を譲らなければなりません。また、未舗装路から舗装路に入る場合、二級道路から州道に入る場合、または左折しようとしていて対向車が来ている場合も道を譲らなければなりません。

- ✓ 信号機のない交差点では、すでに交差点内にいる車両に優先権を譲らなければなりません。
- ✓ 未舗装路から舗装路に入る際は、道を譲らなければなりません。
- ✓ 信号機のない交差点で左折を計画している場合は、対向車に道を譲らなければなりません。

6.3 車線（ペイントマーキング）の色と種類の意味

路面標示は交通を誘導し、規則を示します。黄色の線は対向車線を分離します。白色の線は同じ方向に進む車線を分離します。破線は安全であれば越えることができますが、実線は車線内に留まるべきことを示します。白または黄色の二重実線は、越えることができない障壁です。

- ✓ 黄色の線は、対向する交通を分離します。
- ✓ 白色の線は、同じ方向に進む車線を分離します。
- ✓ 破線は、安全な場合に車線変更や追い越しのために越えることができることを意味し、実線は車線内に留まるべきことを意味します。
- ✓ 二重の白色実線を越えることは違法です。

6.4 中央線を利用した追い越しのルール

対面通行の道路にある中央線の表示は、いつ合法的に追い越しができるかを示します。自分の側に黄色い実線がある場合は追い越しはできません。自分の側に黄色い破線があり、前方が安全な場合にのみ追い越しができます。二重の黄色い実線がある場合、どちらの方向からの追い越しも禁止されています。

- ✓ 道路の自分の側に黄色い実線がある場合、他の車両を追い越すことはできません。
- ✓ 中央線が黄色い実線と破線の組み合わせである場合、破線が自分の側にあり、かつ安全な場合にのみ追い越しができます。
- ✓ 二重の黄色い実線でマークされた道路では、どちらの方向への追い越しも許可されていません。

6.5 横断歩道における歩行者の優先権

ドライバーは、横断歩道にいる、または渡ろうとしている歩行者に常に道を譲らなければなりません。ワシントン州では、道路に線が引かれていなくても、すべての交差点が法的に横断歩道と見なされます。交差点を曲がる際は、特に歩行者に注意してください。

- ✓ 横断歩道にいる、または渡ろうとしている歩行者には、優先権を譲らなければなりません。
- ✓ すべての交差点は、ペイントされた線でマークされているかどうかにかかわらず、法的に横断歩道として定義されています。
- ✓ 路面埋め込み式の横断歩道灯が点滅している場合は、歩行者に道を譲らなければなりません。

6.6 自転車との道路の共有

ワシントン州には、自転車との道路共有を円滑にするためのいくつかの標示があります。「シェブロンマーク（Sharrows）」は、自転車が走行すると想定される共有車線を示します。「バイシクルボックス（bicycle box）」は交差点に塗装されたエリアで、自転車が自動車の前方で待機できるようにするものです。ドライバーはバイシクルボックスに進入してはならず、これらの交差点では赤信号で右折することはできません。

- ✓ 「シェブロンマーク（sharrow）」の路面標示を見たら、自転車と車線を共有する準備をし、追い越す際には少なくとも3フィートの間隔を空けてください。
- ✓ 交差点の「バイシクルボックス」は、自転車が車両の前で待機するためのものです。ドライバーは白い停止線の後ろで停止しなければなりません。
- ✓ 「バイシクルボックス」がある交差点では、赤信号で右折することは許可されていません。

6.7 スクールゾーンの速度と安全に関する規則

スクールゾーンとは学校周辺の区域のことで、標識や点滅するライトで示されています。スクールゾーンの制限速度は時速20マイルです。この制限速度は、放課後の活動があるため、通学時間帯だけでなく様々な時間帯で有効になることがあります。ドライバーは減速し、子供に注意を払わなければなりません。

- ✓ ワシントン州のスクールゾーンにおける制限速度は、標識で別途指示がない限り、時速20マイルです。
- ✓ スクールゾーンの制限速度が有効な場合は、子供がいるかどうかにかかわらず、その制限速度を遵守しなければなりません。

6.8 DDI（分岐ダイヤモンド型インターチェンジ）を理解する

DDI（分岐ダイヤモンド型インターチェンジ）とは、通常は高速道路（フリーウェイ）への左折をより効率的に行うための特殊な交差点設計です。DDIでは、交通は一時的に道路の左側に誘導され、対向車線を横切って曲がる必要がなくなります。ドライバーはインターチェンジを通過する際、すべての標識、信号、路面標示に注意深く従う必要があります。

- ✓ DDI（分岐ダイヤモンド型インターチェンジ）では、交通は一時的に道路の左側に渡ります。
- ✓ DDIの設計により、ドライバーは停止したり対向車に道を譲ったりすることなく、高速道路（フリーウェイ）へ左折することができます。
- ✓ ドライバーは、車線変更を正しく行うために、標識や路面標示に細心の注意を払う必要があります。

6.9 中央共有転回レーンの使用

黄色い実線と破線、および左折矢印でマークされた中央共有レーンは、道路から左折する、または道路へ左折して進入する車両のために確保されています。追い越しには使用できません。このレーンでは、曲がる前に300フィートを超えて走行してはなりません。

- ✓ 中央共有レーンは、道路から左折する、または道路へ左折して進入する場合にのみ使用が許可されています。
- ✓ 他の車両を追い越すために中央共有転回レーンを使用してはなりません。
- ✓ 中央共有転回レーン内を300フィートを超えて走行してはなりません。

6.10 特別用途レーンおよびリバーシブルレーンの規則

HOV（多人数乗車車両）レーンは、ひし形の記号で示され、相乗り自動車、バス、オートバイ専用です。リバーシブルレーンは、交通の流れを管理するために進行方向が変わり、頭上の信号機によって制御されます。緑色の矢印はレーンが通行可能であることを意味し、赤色のXは通行不可を、黄色のXは安全にレーンから出る必要があることを意味します。

- ✓ HOVレーンは、標識や路上のひし形の記号によって識別されます。
- ✓ リバーシブルレーンでは、緑色の矢印はレーンを使用できることを示し、赤色のXは使用できないことを意味します。
- ✓ リバーシブルレーンの頭上の信号機に表示される黄色のXは、レーンの進行方向がまもなく変わるため、そこから移動しなければならないことを意味します。

6.11 工事区域および緊急区域での安全運転

工事区域とは道路工事が行われているエリアであり、緊急区域とは衝突事故やその他の事案に対応するための一時的なエリアです。これらの区域では、速度を落とし、車間距離を十分に保ち、注意散漫になるものを排除し、停止できるように準備しなければなりません。可能な場合は車線を変更し、作業員や車両のためにスペースを空けてください。

- ✓ 工事区域に接近する際は、作業員が見えなくても、速度を落とし、車間距離を十分に保たなければなりません。
- ✓ 工事区域を出たことを示す標識を見るまで、工事区域の標識の指示に従わなければなりません。
- ✓ 可能な場合は、車線を変更して、路肩の作業員、建設車両、または緊急車両のためにより多くのスペースを確保すべきです。

CHAPTER 7

Chapter 7: Rules of the road 3

7.1 ワシントン州の道路における緊急ゾーンへの対応

路肩に緊急対応車両（パトカー、レッカー車、救急車など）がライトを点滅させているのを見たら、そこは緊急ゾーンです。作業員の安全を確保するために、特定の行動を取らなければなりません。これには、可能であれば車線を変更するか、大幅に減速することが含まれます。

- ✓ 路肩でライトを点滅させている緊急対応車両を見たら、可能であればより遠い車線に移動しなければなりません。
- ✓ 車線を変更できない場合は、制限速度より少なくとも時速10マイル（mph）落として走行しなければなりません。
- ✓ 制限速度に関わらず、緊急ゾーンでは決して時速50マイル（mph）を超えて運転してはなりません。

7.2 駐車禁止場所と必要な距離

ワシントン州では、安全と交通の流れを確保するため、多くの特定の場所での駐車が違法とされています。消火栓、一時停止標識、私道などの物体から保たなければならない最低限の法的距離を知っておく必要があります。

- ✓ 消火栓から15フィート以内に駐車しないでください。
- ✓ 交通信号機、一時停止標識、または譲れ（YIELD）の標識から30フィート以内に駐車しないでください。
- ✓ 車両は縁石から12インチ以内に駐車しなければなりません。
- ✓ 私道、路地、または私有道路の入り口から5フィート以内に駐車しないでください。

7.3 ワシントン州での坂道での正しい駐車方法

坂道で駐車する際は、パーキングブレーキが故障した場合の安全対策として、タイヤを特定の方向に向けておく必要があります。タイヤの向きは、上り坂か下り坂か、また縁石があるかないかによって決まります。

- ✓ 縁石のある上り坂で駐車する場合は、前輪を縁石から離れる方向に向けます。
- ✓ 縁石のある下り坂で駐車する場合は、前輪を縁石の方向に向けます。
- ✓ 縁石がない場合は、上り坂か下り坂かに関わらず、前輪を道路の端に向けます。

7.4 車内に放置された子供や動物に関する法律

ワシントン州では、駐車中の車内に子供や動物を放置することを固く禁じる法律があります。これは非常に危険な行為となり得ます。規則は子供の年齢や車両のエンジンがかかっているかどうかによって異なります。

- ✓ エンジンがかかっている駐車中の車内に16歳未満の子供を放置することは犯罪です。
- ✓ 過度の暑さ、寒さ、または換気不足によって害を受ける可能性がある場合、車内に動物を放置することは違法です。
- ✓ エンジンが停止していても、駐車中の車内に12歳未満の子供を放置することは犯罪です。

7.5 安全な駐車方法と縁石の表示

安全な駐車とは、単に車を置くだけでなく、周囲の状況を認識することも含まれます。ワシントン州のマニュアルでは、自転車との衝突を防ぐためにドアを開ける際の「ダッチリーチ」方式が強調されています。縁石の色も特定の駐車制限を示しています。

- ✓ 「ダッチリーチ」を使いましょう。ドアから最も遠い方の手でドアを開けることで、体をひねり、接近してくる自転車や車両を確認することができます。
- ✓ 白く塗装された縁石は、短時間の停車のみが許可されていることを示します。
- ✓ 黄色または赤く塗装された縁石は、荷物の積み下ろしゾーンやその他の制限があることを示します。

7.6 障がい者およびEV（電気自動車）用スペースの特別駐車規則

特定の駐車スペースは、特定の用途のために確保されています。適切な許可証やナンバープレートなしで障がい者用駐車スペースに駐車すること、または隣接するアクセス通路を塞ぐことは違法です。同様に、電気自動車の充電ステーションにも特定の利用要件があります。

- ✓ 障がい者用駐車スペースの隣にある縞模様のアクセス通路に駐車したり、通路を塞いだりしてはなりません。
- ✓ 車両が充電設備に接続されていない限り、電気自動車の充電ステーションに駐車することは違法です。
- ✓ 運転中は、バックミラーに障がい者用駐車許可証を吊り下げてはなりません。

7.7 全ての車両積載物を固定する要件

ワシントン州では、積載物を固定せずに運転することは違法かつ危険です。車両やトレーラーの中または上にあるすべての物品は、道路に落下して危険や衝突事故を引き起こすことがないよう、適切に固定しなければなりません。

- ✓ すべての積載物は、物品が落下したりずれたりしないように、ロープ、ネット、またはストラップで固定しなければなりません。
- ✓ 大きな物は、車両またはトレーラーに直接縛り付ける必要があります。
- ✓ 積載物を固定せずに運転することは法律違反です。

7.8 車両での動物の安全な輸送に関する法律

ワシントン州には、輸送中の動物の安全を確保し、動物が運転者の注意を散漫にさせたり、一般市民に危険を及ぼしたりするのを防ぐための特定の法律があります。

- ✓ 保護用のハーネスや囲いで固定されていない限り、トラックのオープンな荷台で動物を輸送することは違法です。
- ✓ 車内で放し飼いにされている、または運転者の膝の上に乗っている動物は、安全運転から注意をそらす可能性のある注意散漫の原因となります。

7.9 ワシントン州の海岸における特別な運転規則

ワシントン州の一部の郡（グレイズハーバー郡およびパシフィック郡）では、海岸が州道に指定されており、すべての交通法規が適用されます。これには、特定の制限速度や歩行者の優先通行権に関する規則が含まれます。

- ✓ 運転が許可されている海岸での制限速度は時速25マイルです。
- ✓ 海岸では、常に歩行者と自転車が優先通行権を持ちます。
- ✓ 標識のあるビーチアクセス路からのみ、車両でビーチに入ることができます。

CHAPTER 8

Chapter 8: Risks 1

8.1 速度超過の危険性と結果

制限速度を超えて運転すると、リスクが大幅に増加します。速度超過は、危険を察知して反応する能力を低下させ、車両の停止距離を長くし、特に悪天候時にはコントロールを維持することが難しくなります。衝突事故の際、速度が速いほど負傷の重症度が劇的に増し、シートベルトなどの安全装置の効果が減少する可能性があります。

- ✓ 速度超過は衝突時の衝撃力を増大させ、より深刻な負傷や死亡につながります。
- ✓ 過度の速度で運転すると、シートベルトの効果が減少し、車両を停止させるのに必要な距離が長くなります。

8.2 現在の道路状況に合わせた速度調整

表示されている制限速度は、理想的な条件下での法定最高速度です。ワシントン州法では、現在の状況に対して安全な速度で運転することが義務付けられており、これは多くの場合、表示されている制限速度よりも遅く走行することを意味します。急カーブ、滑りやすい道路、歩行者や自転車がいる場所、交通量の多い場所などでは、速度を落とす責任があります。

- ✓ 現在の道路、天候、交通の状況にとって安全な速度で運転しなければならず、その速度は表示されている制限速度よりも低い場合があります。
- ✓ 表示されている制限速度を超えて運転することは違法ですが、制限速度以下であっても、状況に対して速すぎると判断されれば、違反切符を切られることがあります。

8.3 高速道路への合流における優先権のルール

州間高速道路や幹線高速道路に合流する際は、すでに本線を走行している車両に道を譲らなければなりません。合流するドライバーは、速度を調整し、進入路（オンランプ）全体を使い、意図を合図し、交通の流れの中に安全な車間距離を見つける責任があります。狭すぎるスペースに合流しようとすることは危険であり、他のドライバーが急ブレーキをかけたり、急ハンドルを切ったりする原因となります。

- ✓ すでに州間高速道路を走行しているドライバーは、進入路から入ってくるドライバーに対して優先権を持ちます。
- ✓ 合流する際は、交通の流れに合わせて速度を調整し、車線に入る前に安全なスペースができるのを待たなければなりません。

8.4 旋回時の優先権の譲歩

他の車両の進路を横切って旋回しようとする場合は、優先権を譲らなければなりません。直進してくる対向車は、旋回するドライバーよりも優先権があります。旋回するドライバーは、他車に減速や停止を強いることなく安全に旋回を完了するのに十分な時間があることを確認するため、接近してくる車両の速度と距離を正確に判断する責任があります。

- ✓ 接近してくる車両は、その車線を横切って旋回しようと準備しているドライバーよりも常に優先権があります。
- ✓ 安全に旋回でき、対向車の通行を妨げることなく交差点を通過できるまで、旋回を開始してはなりません。

8.5 道路上の危険の識別と対応

危険予測は、道路をスキャンし、潜在的なリスクを識別し、それが危険になる前に適切に対応する能力を含む、極めて重要な運転スキルです。危険とは、速度や方向の変更を必要とするあらゆるものを指します。これには、通りに飛び出してくる子供からゴミ箱のような静止物まで含まれます。ドライバーは、状況認識を維持し、最も緊急性の高いものを優先して複数の危険を管理するために、常に周囲（前方、側面、後方）をスキャンしなければなりません。

- ✓ 危険とは、速度や方向の変更を必要とするあらゆる道路状況または道路利用者を指します。
- ✓ 危険に接近する際は、安全な判断を下すための時間と空間を確保するために減速すべきです。
- ✓ 潜在的な危険に気づくために、後方の状況を把握するためのミラーの使用を含め、常に周囲をスキャンしなければなりません。

8.6 ワシントン州における死亡衝突事故の主な要因

死亡衝突事故の主な原因を理解することは、防衛運転にとって不可欠です。ワシントン州では、最も一般的な要因として、速度超過、飲酒や薬物の影響下での運転、注意散漫、そして同乗者のシートベルト未着用が挙げられます。州内では、自動車事故が16歳から25歳の年齢層における主な死因となっているため、この年齢層のドライバーは特に危険にさらされています。これらのリスクを認識することが、ドライバーがより安全な選択をする助けとなります。

- ✓ 死亡衝突事故の最も一般的な要因は、速度超過、飲酒や薬物の影響下での運転、注意散漫、そしてシートベルトを着用していない同乗者です。
- ✓ ワシントン州では、自動車事故が16歳から25歳の人々の主な死因となっています。

8.7 ジッパー合流のテクニック

車線閉鎖によって交通が渋滞または停止している場合、ワシントン州のドライバーはジッパー合流のテクニックを使用すべきです。これは、指定された合流地点まで両方の車線を使い、その後ジッパーの歯のように交互に開いている車線に合流する方法です。この方法は交通の流れを改善し、急な車線変更による衝突を減らすことが証明されています。

- ✓ 前方の車線が閉鎖されている場合は、合流地点に達するまで両方の車線を使い続けてください。
- ✓ 合流地点では、各車線のドライバーが交互に一台ずつ、開いている車線に合流してください。

CHAPTER 9

Chapter 9: Risks 2

9.1 安全な夜間運転のためのルールとテクニック

夜間の運転は、視界が大幅に低下するため、より危険です。ドライバーは、ヘッドライトが照らす距離の範囲内で停止できるよう、速度を調整しなければなりません。自分が見え、また他車から見られるためにヘッドライトを正しく使用すること、そして目がくらむのを避けるために他車のヘッドライトにどう対応するかを知ることが極めて重要です。

- ✓ 対向車がいないときはハイビームを使用しますが、他の車両に接近したり、追従したりするときはロービームに切り替えてください。
- ✓ 対向車がハイビームを使用している場合は、一時的に目がくらむのを避けるため、道路の右側に視線を向けてください。
- ✓ ヘッドライトで見える前方の距離内で停止できる速度で運転しなければなりません。
- ✓ 夜間や不慣れな道路を運転するときは、車間距離を長めにとりましょう。

9.2 滑りやすい路面状況に合わせた運転調整

ワシントン州の天候は、雨、雪、氷によって道路が滑りやすくなることが多く、タイヤの摩擦が減少し、停止距離が長くなります。ドライバーは速度を落とし、車間距離を広げる必要があります。他の道路が凍結していなくても、橋、高架道路、日陰は凍結している可能性があるため、特に注意してください。ブラックアイスは特に危険で、ほとんど目に見えない危険です。

- ✓ 暑い日には、熱によってオイルが表面に浮き出るため、雨の降り始めの数分間が最も路面が滑りやすくなります。
- ✓ 道路の他の部分が凍結していなくても、橋、高架道路、日陰は凍結していることがあります。
- ✓ 雪や氷の上を運転するときは、速度を大幅に落とし、車間距離を広げなければなりません。
- ✓ ブラックアイスは非常に見えにくい薄い氷の膜であり、氷点下に近い気温では細心の注意が必要です。

9.3 運転中の集中力維持と注意散漫の回避

ワシントン州で安全に運転するには、ドライバーの完全な精神的・視覚的注意が必要です。ドライバーズマニュアルでは、脳は一度に一つのことしか集中できないと強調されています。ほんの数秒の不注意でも、壊滅的な結果につながる可能性があります。ドライバーは精神を集中させ、スキャンニングによって危険を予測し、状況に積極的に対応する必要があります。これには、運転を開始する前に、内的および外的な注意散漫の原因を排除することが含まれます。

- ✓ 携帯電話や車内のエンターテイメントシステムなどの注意散漫の原因となるものをオフにし、運転に完全に集中することを約束してください。
- ✓ あなたの完全な注意力が、路上で最も価値のある資産です。精神的な注意と視覚的な焦点を一致させなければなりません。
- ✓ 常に前方の道路をスキャンし、周囲の状況を認識し続けることで、危険を予測してください。

9.4 カーブを走行するための適切なテクニック

カーブを安全に走行するには、慣性のような物理的な力に対抗するために、速度と車両の位置を管理する必要があります。正しい手順は、カーブに入る前に減速し、カーブ内では一定の速度を保ち、カーブを出る際に穏やかに加速することです。このテクニックは、トラクションとコントロールを維持するのに役立ちます。

- ✓ カーブに進入する*前*に減速しなければならず、カーブの最中に減速してはいけません。
- ✓ カーブに近づく際は、視界を良くし、操作のためのスペースをより多く確保するために、車両を車線のやや外側に位置させてください。
- ✓ カーブの真ん中での急ブレーキや急加速は避けてください。車両のバランスを崩し、コントロールを失う原因となります。

9.5 車両がスリップした際の正しい対処法

スリップは、タイヤが路面とのグリップを失ったときに発生します。コントロールを取り戻すには、冷静かつ正しく対応する必要があります。主な対処法は、アクセルペダルから足を離し、車両を進ませたい方向にハンドルを切ることです。ブレーキの使用方法は、アンチロック・ブレーキ・システム（ABS）が装備されているかどうかによって異なります。

- ✓ 車両がスリップし始めたら、すぐにアクセルペダルから足を離してください。
- ✓ トラクションを回復するために、車両を進ませたい方向にハンドルを切ってください。
- ✓ アンチロック・ブレーキ（ABS）が装備されている場合は、ブレーキペダルをしっかりと踏み込みます。ABSが装備されていない場合は、ホイールのロックを避けるためにブレーキを軽く数回に分けて踏む必要がある場合があります。

9.6 ハイドロプレーニング現象の理解と対応

ハイドロプレーニング現象は、濡れた路面でタイヤと路面の間に水の膜ができ、トラクション（駆動力）とコントロールを失う現象です。車が水の上を滑っているように感じることがあります。ハイドロプレーニング現象を防ぐ最善の方法は、濡れた路面では速度を落とすことです。もし発生した場合は、アクセルから足を離し、トラクションが回復するまでハンドルをまっすぐに保つ必要があります。

- ✓ ハイドロプレーニング現象を防ぐ最善の方法は、路面が濡れているときに速度を落とすことです。
- ✓ ハイドロプレーニング現象が始まったら、アクセルから足を離し、急なハンドル操作や急ブレーキを避けてください。
- ✓ タイヤが再び路面に接触するまで、ハンドルをしっかりと持ち、行きたい方向を見てください。

9.7 速度が視野に与える影響

ドライバーは3種類の視覚を使用します。中心視（真正面の詳細を見るため）、中間周辺視（中心視野の端を見るため）、そして周辺視（側方を見るため）です。速度が上がるにつれて、これら3種類の視覚の質はすべて低下し、有効な視野が狭まり、側面からの危険を発見することがはるかに困難になります。

- ✓ 速度が速いほど、中心視、中間周辺視、周辺視の質と範囲が低下します。
- ✓ 潜在的な危険、特に道路の側面にある危険をはっきりと確認するためには、速度を落とす必要がある場合があります。

CHAPTER 10

Chapter 10: Risks 3

10.1 衝突事故現場で直ちに取るべき行動

ワシントン州法では、衝突事故に関わったすべての運転手は現場に停止することが義務付けられています。現場を離れることは重大な違反です。あなたの義務には、負傷者の確認、可能であれば車両を車線外に移動させること、そして対向車に警告することが含まれます。無人の駐車車両に衝突した場合、所有者を見つけるか、連絡先と事故の詳細を記したメモを残す法的義務があります。

- ✓ 衝突事故現場から走り去ってはなりません。それは違法です。
- ✓ 衝突事故に遭った場合、交通の妨げにならないよう、可能であれば車両を路肩に移動させるべきです。
- ✓ 駐車車両に衝突し、所有者が見つからない場合は、連絡先、事故の日時を記したメモを残さなければなりません。

10.2 ワシントン州における衝突事故報告の要件

衝突事故後、運転手は氏名、連絡先、運転免許証番号、保険証券情報を含む情報を交換しなければなりません。また、州法により、法執行官が現場で報告書を提出しない場合、4日以内に免許局（Department of Licensing - DOL）に衝突事故報告書を提出することが義務付けられています。これは法的な要件です。

- ✓ 法執行官が報告書を提出しない場合、事故から4日以内にDOLに衝突事故報告書を提出する必要があります。
- ✓ 衝突事故後は、関係者と氏名、連絡先、運転免許証番号、保険会社名／証券番号を交換しなければなりません。
- ✓ 燃えている車両の中にいる場合や、その他の差し迫った危険がある場合を除き、事故後に負傷者を動かさないでください。

10.3 電力線が関わる衝突事故の安全手順

電力線が関わる衝突事故は、特有かつ深刻な感電リスクをもたらします。もし電力線があなたの車の上に落ちてきた場合、最も安全な行動は車内に留まり、911に通報し、救急隊の到着を待つことです。車両の周囲の地面は帯電している可能性があります。火災のために避難しなければならない場合は、車両から完全に飛び降り、両足を揃えて着地し、その後すり足で安全な場所まで離れなければなりません。

- ✓ 電力線が車の上に落ちてきた場合は、必ず車内に留まり、911に電話して助けを求めてください。
- ✓ 地面が帯電している可能性があるため、電力線に接触している車両から少なくとも35フィートは離れるよう人々に警告してください。
- ✓ 火災のために電力線に接触している車両から脱出しなければならない場合は、両足を揃えて着地するように飛び降り、少なくとも35フィートはすり足で離れてください。

10.4 路上での一般的な車両故障への対応

走行中に車両が機械的な故障を起こした場合、最優先事項は、安全に車両を道路から退避させ、交通の流れから離れることです。非常点滅表示灯（ハザードランプ）を使用し、もしあれば車両の後方200〜300フィートの位置に発煙筒を設置して、他のドライバーに自分の車が見えるようにすることが極めて重要です。特定の故障にはそれぞれ異なる対応が必要です。タイヤがパンクした場合は急ブレーキを避け、アクセルが固着した場合は直ちにニュートラルにシフトしなければなりません。

- ✓ タイヤがパンクした場合は、ハンドルをしっかりと握り、アクセルから足を離して徐々に減速し、急ブレーキはかけないでください。
- ✓ アクセルペダルが固着した場合は、速やかに車両をニュートラルにシフトし、安全な時に路肩に寄せてください。
- ✓ 緊急の故障を知らせるには、非常点滅表示灯をつけ、ボンネットを開けるか、アンテナやドアハンドルに白い布を結びつけてください。

10.5 法執行機関による交通取締り時の適切な手順

法執行官に停止を求められた際は、合図を出し、安全が確認でき次第、速やかに道路の右側に車を寄せてください。あなたと警察官双方の安全のため、エンジンを切り、夜間は室内灯をつけ、両手はハンドルに置いたままにしてください。警察官から指示があるまで、書類に手を伸ばさないでください。

- ✓ 警察官に停止を求められた際は、別の指示があるまで両手をハンドルに置いておくべきです。
- ✓ 運転免許証、保険証、または車両登録証に手を伸ばす前に、警察官が書類を要求するのを待ってください。
- ✓ 夜間に停止を求められた場合は、車内の室内灯をつけるべきです。

10.6 交通違反切符を受け取った際の法的責任

ワシントン州では、交通違反切符を渡された場合、それに署名することが義務付けられています。この署名は罪を認めるものではなく、切符を受け取り、対応することを約束したという確認です。署名を拒否すると逮捕される可能性があります。運転免許の停止を避けるため、15日以内に切符の指示に従わなければなりません。

- ✓ 交通違反切符を渡された際には署名することが義務付けられています。署名を拒否すると逮捕につながる可能性があります。
- ✓ 運転免許の停止を避けるため、15日以内に交通違反切符の指示に対応しなければなりません。
- ✓ 交通違反切符への署名は、受領の確認であり、罪を認めるものではありません。